

「親子でせんだい災害VR体験！～筑川の氾濫に備えよう～」講座レポート



開催日:令和6年 2月 3日(土)

会場:富沢市民センター2階 第一会議室

講師:仙台市防災・減災アドバイザー 早坂 政人 氏

受講人数:小学生親子9組 22人



富沢地区の子育て世帯に対して過去の筑川の氾濫被害を紹介し、講話や災害VR体験、タイムライン作成を通して防災意識を高めることを目的とした「親子でせんだい災害VR体験！～筑川の氾濫に備えよう～」を2月3日(土)に開催しました。



受講した親子は、最初に「せんだい災害VR 洪水・土砂災害編」を体験し、実際に川が氾濫したら水がどのように迫ってくるのかなどをVRのリアルな映像を見て学びました。

次に、講師から1時間の降水量が50mm以上の大雨の年間発生回数は50年でおおよそ1.5倍増えており、年々気象災害のリスクが高まっているため、命を守るためには最新の気象情報や予測を踏まえた避難行動・対応が必要というお話を聞きました。

最後に、「マイタイムライン作成ガイド」を使って各家庭のマイタイムラインを作成しました。

まずは、ハザードマップを見て、自宅が浸水想定区域や土砂災害警戒区域に該当するのを確認し、警戒レベルのどの段階に避難を開始すればよいのかを話し合いました。

そして、警戒レベルごとにチェック項目を確認し、家族で取り組むことを記入して、マイタイムラインを完成させました。

受講した親子からは、「家族で非常時に具体的に何をするのかを考えることで防災に対する意識を統一することができた。」「自発的に実際にハザードマップを見ながら対策を考える機会はなかなかないので、大変よい機会になった。」などの声が聞かれました。



タイムライン作成方法

※③と④は作成ガイドの中にあります。



① ハザードマップで自宅を確認する。



② マイタイムライン作成ガイドを見る。



③ 避難のタイミングや避難場所を確認する。



④ マイタイムラインを作成する。